

Digital Transformation

DX計画

2025年11月

- 0 1 代表メッセージ
- 0 2 D X ビジョン
- 0 3 D X 戦略
- 0 4 D X 推進体制
- 0 5 人材・I T 環境整備
- 0 6 指標
- 0 7 情報セキュリティ基本方針

未来の子供たちに誇れる地球環境を目指し、人にやさしい街づくり

皆さま、平素より当社の事業活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

建設業界は今、大きな転換期を迎えています。人材不足や技術者の高齢化、若手の入職者減少といった課題が深刻化する一方で、労働生産性の低迷やインフラの老朽化、災害対応の需要増加など、多岐にわたる問題に直面しています。また、業務プロセスのデジタル化が進まず、持続可能な社会への貢献が求められる中、環境負荷低減や脱炭素社会の実現も急務となっています。

このような状況において、当社が持続的に成長し、社会に貢献していくためには、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が必要不可欠です。DXの導入により、品質向上と生産性の向上を図るだけでなく、現場の安全性や効率性を高め、業務の属人化を解消することができます。また、働きやすい職場環境を整えることで、次世代を担う人材が安心して活躍できる基盤を築いてまいります。

私たちはこれからも変化を恐れず、時代のニーズに応える企業として挑戦を続けてまいります。社員一丸となり、地域社会やお客様に信頼される企業を目指して邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 川口 裕二

現場主導のDXで効率と安全を両立し、 未来の街づくりを支える

戦略① 現場作業のDX

デジタル技術を活用し、現場作業の効率化とミス削減を図る取り組み。

戦略② 安全管理のDX

デジタル技術で安全管理を可視化し、作業環境の安全性を高める取り組み。

現場作業のDX

- ・ドローン測量の実施
- ・ICT建機の充実
- ・タブレット活用

安全管理のDX

- ・安全確保への取組み
- ・万全な車両管理
- ・過積載防止の徹底

03 DX戦略～現場作業のDX～



ドローン測量の実施

レーザーが地表や障害物に反射する時間を計測することで、高精度な3D点群データを生成。

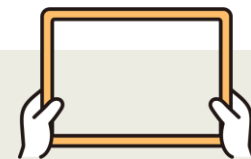
これにより、広範囲の地形測量が効率的に行え、複雑な環境でも活用可能。土木、災害対策、建設業など多様な分野で活用。



ICT建機の充実

GPSやセンサーを搭載し、自動制御やリアルタイムでのデータ共有が可能で、施工計画に基づいた正確な作業を実現。

複数台の所有により、各現場や複数工程での同時作業が可能となり、工期短縮やコスト削減に寄与。



タブレット活用

タブレットを使用することで、施工図面や計画書、写真などのデータをリアルタイムで確認・更新でき、ペーパーレス化を実現。

また、クラウドを通じてオフィスと現場の連携が円滑化し、コミュニケーションの効率が向上。



安全確保への取組み

監視カメラやセンサーは、現場の状況をリアルタイムでモニタリングし、危険を早期に察知して事故を防止。

重機の小型化により、狭小現場での作業を安全に実施。

また、熱中症対策として温度センサーなどを活用し、作業員の健康管理を強化。



万全な車両管理

ドライブレコーダーは走行中の映像や音声を記録し、事故の原因究明やトラブル対応に役立つほか、運転状況の分析による安全運転指導にも活用。

また、リアルタイムでの運行状況の監視や、運転データの蓄積による業務改善が可能となり、社員の安全確保と業務の効率化に貢献。



過積載防止の徹底

車両の積載量をリアルタイムで測定・管理し、過積載を未然に防ぐことで、車両の故障や事故のリスクを減らし、運送業務の安全性を向上。

また、適正な運行管理により燃費の改善や環境負荷軽減にも寄与し、効率的かつ持続可能な事業運営を実現。

DXビジョンを実現する 体制・運営

代表取締役が委員長を兼務し、各部責任者を指名し、各部署の関係者が協力してDX推進に取り組みます。

DX推進委員会

- ❑ 委員長：代表取締役社長
- ❑ 構成員：各部責任者2名
- ❑ 開催：月1回
- ❑ 連携：ITベンダー・建機メーカー
金融機関



人材育成、確保の施策

IT人材の育成

- ・ ICT施工関連技術の習得
- ・ 社内人材のリスキリング

外部企業との連携

- ・ 外部企業との連携、協働によるノウハウの取得
- ・ 外部企業との定期的な情報交換の実施



IT環境整備の施策

クラウド活用

- ・ 社内システムのクラウド移行に向けた準備
- ・ 紙帳票の更なるデジタル化

セキュリティ対策

- ・ 端末のセキュリティ強化
- ・ ネットワーク監視の強化

06 指標



建設現場のDX

- 公共工事のICT施工100%実施
- CPDSセミナー受講2回/年
- ICT施工技術者育成2名



安全管理のDX

- ヒヤリハットの削減
- 年間事故ゼロ
- 交通法令違反ゼロ

▶ 07 情報セキュリティ基本方針

株式会社川口登建設（以下、当社）は、お客様からお預かりした情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社で情報セキュリティに取り組みます。

1.経営者の責任

当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。

2.社内体制の整備

当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。

3.従業員の取組み

当社の従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにします。

4.法令及び契約上の要求事項の遵守

当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。

5.違反及び事故への対応

当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。

制定日:2025年11月19日
